

「ゼロエミッションみえ」実装 成長産業育成・競争力強化事業 事業報告

富村哲也*, 増山和晃*, 中村創一*, 瀬戸彰文*, 森本和邦*

Report on Support Efforts toward Carbon Neutrality

Tetsuya TOMIMURA, Kazuaki MASUYAMA, Soichi NAKAMURA, Akifumi SETO and
Kazukuni MORIMOTO

1. はじめに

2020年10月に政府は、2050年までにカーボンニュートラルを目指すことを宣言した。その後、温室効果ガス削減目標を2030年度において2013年度比で46%削減とした。

三重県では、2023年3月に「ゼロエミッションみえ」プロジェクト推進方針を策定し、カーボンニュートラル実現に向けた取組を進めている。本プロジェクトの関連事業である「ゼロエミッションみえ」実装 成長産業育成・競争力強化事業の取組の一部を報告する。

2. 取組内容

カーボンニュートラル実現に向け、県内企業のCO₂排出量削減や競争力強化を図るため、製造現場における具体的なCO₂排出量削減につながる手法などを学ぶことを目的として、以下の取組を実施した。

2.1 見える化支援

CO₂排出量を把握するために電流センサーを製造現場に設置し、収集したデータからCO₂排出量を換算し、CO₂排出量削減に向けた課題の分析や具体的な改善策の検討ができるように機材を整備した。また、可視画像や熱画像を取得できるカメラも整備し、これら機材を県内企業の現場で活用できる環境を整えた。

* プロジェクト研究課

2.2 セミナー開催

セミナーの開催概要を表1に示す。

第1回は、第1部として一般社団法人省エネルギーセンターエネルギー使用合理化専門員の小川幸男氏を講師に迎え、「省エネ説明会～カーボンニュートラル推進に向けた製造業の省エネ取組～」と題して、カーボンニュートラルの現状や省エネ技術、省エネ診断、診断を活用した改善事例の紹介などについて講演をいただいた。第2部では、2.1節の取組を紹介した。

第2回は、第1部として中部産商株式会社代表取締役社長の井上幸次氏を講師に迎え、「中部産商株式会社における熱エネルギー効率の改善による省エネルギーの取組」と題して2021年に省エネ大賞を受賞された「セラミックスの焼成と品質向上を両立させる省エネの取組」にて熱エネルギーの効率化に取り組みされた事例に加え、受賞後に取り組まれている設備の見える化やデータのデジタル化を通じた継続的な省エネ活動についても講演をいただいた。第2部では、第1回と同様に工業研究所の取組を紹介した。

3. まとめ

カーボンニュートラル実現に向け、県内企業のCO₂排出量削減や競争力強化が図れるよう、次年度以降も今年度導入した機材を活用しつつ、県内企業のカーボンニュートラルに向けた取組を引き続き支援していく。

表1 カーボンニュートラル推進セミナー開催結果

	開催日	場所	内容	参加者数
第1回	令和5年12月8日 13:30～15:30	工業研究所 オンライン	<p>【第1部】 省エネ説明会 ～CN推進に向けた製造業の省エネ取組～ 講師：一般財団法人 省エネルギーセンター エネルギー使用合理化専門員 小川 幸男 氏</p> <p>【第2部】 工業研究所の取組紹介</p>	17名
第2回	令和6年3月12日 13:30～15:00	工業研究所 オンライン	<p>【第1部】 中小企業の助成制度を活用した取り組み事例紹介 講師：中部産商株式会社 代表取締役社長 井上 幸次</p> <p>【第2部】 工業研究所の取組紹介</p>	11名